

# 令和3年度 授業実施計画書

学 年	1 年
教 科 名	探究基礎
科 目 名	探究基礎
単 位 数	1
必修選択区分	必履修
使用教科書	人間としての在り方生き方に関する教科『人間と社会』
使用副教材	探究ガイドブック2021

科目担当者	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携したワークショップを行い、「問い」の出し方や探究活動の考え方について考察させる。</li> <li>グループワークやマインドマップの作製により設定課題について多面的・多角的に考察する。</li> </ul>
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して、様々な立場から検討し、想像力を養うとともに、他者性を踏まえた課題解決について理解を深める。</li> </ul>
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の興味関心や社会的意義を検討して自己の探究課題について考察し、社会の諸問題を主体的に解決しようとする姿勢を養う。</li> </ul>
担当者からのコメント	1年生の必履修科目であり、体験活動を重視する科目である。 また、授業の中で身につけた考え方は、他の教科科目の学習と相互に関連するものである。	

成績評価	観点	1 自己の興味関心や社会的意義を検討して探究課題を設定できたか。 2 体験学習に対して積極的に取り組めたか。 3 テーマに対する課題などに十分に取り組めたか。
	方法	体験活動への参加状況および活動の様子を観察、テーマに対する課題等の内容および提出状況を通じて、社会貢献することの意義の理解、社会に対する視野の広がりや社会の一員としての自覚を評価する。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>「探究基礎」の目標</li> <li>リサーチスキル・問いの出し方</li> </ul>	A探究はレポート形式で実践する。
期末		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習活動 夏季課題事前学習（課題設定と資料の収集）</li> <li>体験活動</li> </ul>		
2 学期	中間	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して、様々な立場から検討し想像力を養うとともに他者性を踏まえた課題解決について理解を深める。</li> </ul>	B探究 企業や研究機関と連携して協働する。	
	期末	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の企業と連携し体験学習を行い、協働や対話的思考の方法について学び、その結果を発表させる。</li> </ul>		
3 学期	学年末	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題意識・先行研究を踏まえ探究活動の結果をプレゼンテーションする。</li> </ul>	B探究はスライド形式で成果をまとめる。 探究成果発表会	

## 令和3年度 授業実施計画書

学 年	2 年	科目担当者	
教 科 名	探 究		
科 目 名	課題探究		
単 位 数	1		
必修選択区分	学校必履修		
使用教科書	なし		
使用副教材	探究ガイドブック2020		

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己理解をもとに個人探究テーマを設定する。</li> <li>・ 先行研究の調査を通じ関連学問分野への知識を広げ、より高度な課題を設定する。</li> <li>・ 見通しを持ち、探究計画を構築する。</li> </ul>
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究計画を実践し資料やデータを収集する。</li> <li>・ 他者と協力してゼミを運営し、研究を完成させる。</li> </ul>
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文作成を通して論理的な表現や、研究ルールを身につける。</li> <li>・ 研究発表を通じより高度な課題を発見する。</li> </ul>
担当者からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら学び、自ら考え、自ら創るを実践する科目です。様々な見方や考え方から、自分の研究に適切なものを取捨選択し、論理的に構成・表現する力を身につけて下さい。</li> </ul>	

成績評価	観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の興味関心に向き合い、適切に探究課題を設定している。</li> <li>・ 先行研究について理解し、適切なりサーチクエスチョンを設定している。</li> <li>・ 研究計画を立て、自ら探究活動を実践することが出来ている。</li> <li>・ 論文やスライドなどで適切かつ効果的に表現を行っている。</li> </ul>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロットシートなどの取り組み状況</li> <li>・ リフレクションの取り組み状況</li> <li>・ 論文及びその中間報告</li> </ul>

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究課題の設定</li> <li>・ 先行研究の収集・整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロットシート</li> <li>・ 文献リスト・レジュメ</li> <li>・ 探究計画書</li> </ul>
期末		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究計画の作成</li> <li>・ ゼミの組織、活動計画</li> </ul>		
2 学期	中間	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ活動の実践</li> <li>・ 中間発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ活動計画</li> <li>・ 中間報告</li> </ul>	
	期末	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 追加調査</li> <li>・ 論文執筆</li> </ul>		
3 学期	学 年 末	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文提出</li> <li>・ 相互評価</li> <li>・ 探究成果発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文最終提出</li> <li>・ 発表資料</li> </ul>	

## 令和3年度 授業実施計画

学 年	2 年
教科名	探 究 応 用
科目名	探 究 応 用
単 位 数	1
必修選択区分	必 修
使用教科書	なし
使用副教材	なし

組	科目担当者
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

学習の目標	1 学期	大学研究・学部・学科研究・進路ガイダンスなどを通して情報を収集し、自己実現のために自分の考えをまとめられるようにする。また修学旅行に向けての関係図書を自ら選定し読書を行う。
	2 学期	修学旅行に向けて広島・京都を中心に文化・歴史・地理について探究テーマを設定し、研究・発表できるようにする。また修学旅行での探究成果をまとめさせ、修学旅行全体の成果をそれぞれに認識させる。
	3 学期	新聞・雑誌・インターネットなどによる情報を読み、自ら「問い」を設定し、思考のプロセスや探究成果を表現できるようにする。
担当者からのコメント	自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題解決能力や学びに向かう人間性の涵養をねらいとし、思考力・判断力・表現力を養うことをめざす。	

成績評価	観点	①学習に対する取り組み状況 ②課題等の提出状況
	方法	学習に主体的に取り組んでいるか、課題の作成状況、発表の計画性、内容等を総合的に評価する。

授 業 計 画	学 期		時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	6	・情報収集の方法を学び、志望進路の情報を収集する。 ・情報の読み方、まとめ方を学ぶ。	・進路ガイダンスの実施 ・小論文模試の実施
期末		6	・志望進路の情報を収集する。情報の読み方、まとめ方を学ぶ。 ・修学旅行に向けての探究テーマを設定し研究する。		
2 学期	中間	7	・広島・京都を中心に地理・歴史・文化についてグループごとに研究し、発表する。	・修学旅行について文化祭での展示 ・進路ガイダンスの実施 ・小論文模試の実施	
	期末	7	・大学の学部学科について研究する。 ・修学旅行の成果をまとめる。		
3 学期	学年末	9	・「自己理解」「社会理解」のために新聞・雑誌・インターネットなどによる情報をまとめ、自分の意見を表現する。 ・進路希望に沿った学部・学科について調べる。	・総合ノートの作成 ・進路ガイダンスの実施	

## 令和3年度 授業実施計画書

学 年	3 年	科目担当者	
教 科 名	探 究		
科 目 名	課題探究A		
単 位 数	1		
必修選択区分	学校必履修		
使用教科書	なし		
使用副教材	探究ガイドブック2019		

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己理解をもとに個人探究テーマを設定することについて適切に助言・指導できる。</li> <li>・ 関連学問分野への知識を広げる方法の指導を通じ自己の探究水準を高度なものにする。</li> <li>・ 見通しを持ち、探究計画を構築する。</li> </ul>
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究計画を実践する過程で資料やデータの収集が適切か点検し、助言する。</li> <li>・ 下級生と協力してゼミを運営し、研究を完成させる。</li> </ul>
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文作成を通して論理的な表現や、研究ルールを身につける。</li> <li>・ 研究発表を通じより高度な課題を発見する。</li> </ul>
担当者からのコメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究を実践した経験を持つ上級生として下級生をファシリテートすることを通じて自己の学問分野への理解や論理的思考力、マネジメント能力を高める科目です。</li> </ul>

成績評価	観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者へ適切に働きかけることで、相手の研究の高度化を促すことが出来る。</li> <li>・ 自己の探究成果を場面に応じて適切に表現することが出来る。</li> <li>・ ディスカッションなどを通じて社会課題への理解を深めることが出来る。</li> </ul>
	方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロットシートなどの取り組み状況</li> <li>・ リフレクションの取り組み状況</li> <li>・ 行動観察</li> </ul>

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究課題の設定</li> <li>・ 先行研究の収集・整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロットシート</li> <li>・ 文献リスト・レジュメ</li> <li>・ 探究計画書</li> </ul>
期末		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究計画の作成</li> <li>・ ゼミの組織、活動計画</li> </ul>		
2 学期	中間	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ活動の実践</li> <li>・ 中間発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼミ活動計画</li> <li>・ 中間報告</li> </ul>	
	期末	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 追加調査</li> <li>・ 論文執筆</li> </ul>		
3 学期	学 年 末	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論文最終提出</li> <li>・ 発表資料</li> </ul>	